

2024年度 事業報告書

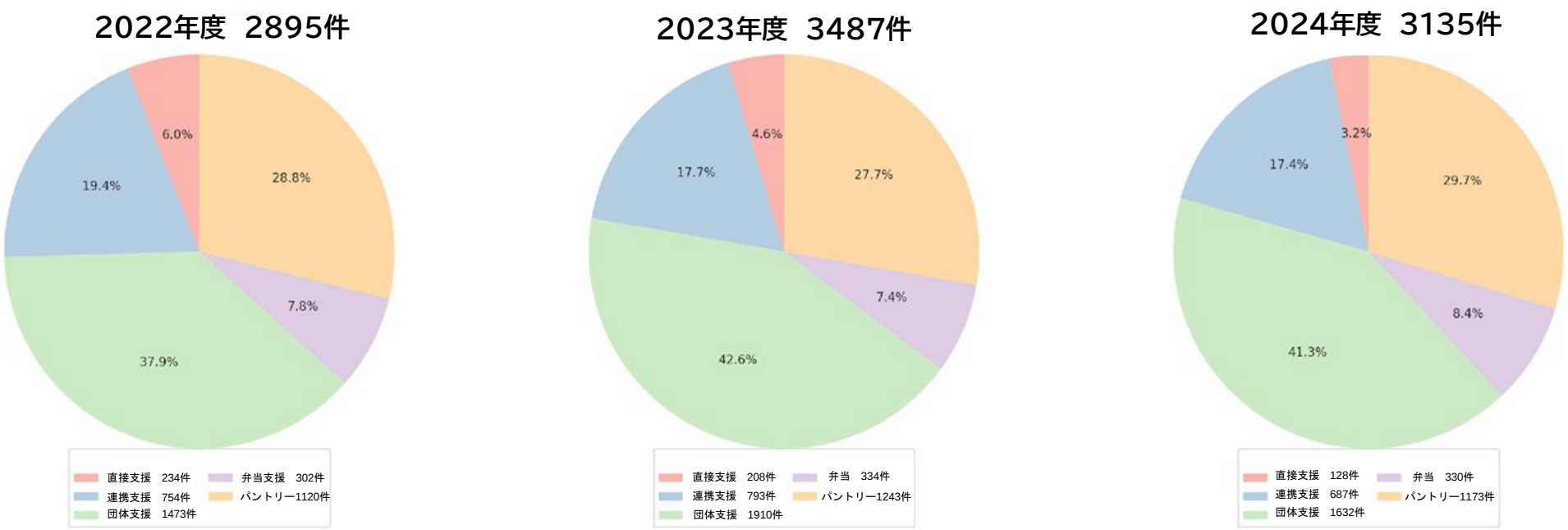


NPO法人ふうどばんく東北AGAIN

フードバンク事業

フードバンクとは、企業や家庭などで余ってしまい、まだ食べられるにもかかわらず廃棄されてしまう食品を生活困窮者や福祉施設などに無償で提供する活動で、当団体は企業や個人、地方公共団体などから物資などを受入、検品・物資調整などを行い、最終受益者に橋渡しをする役割を担っています。

1. 総支援件数 年度別比較

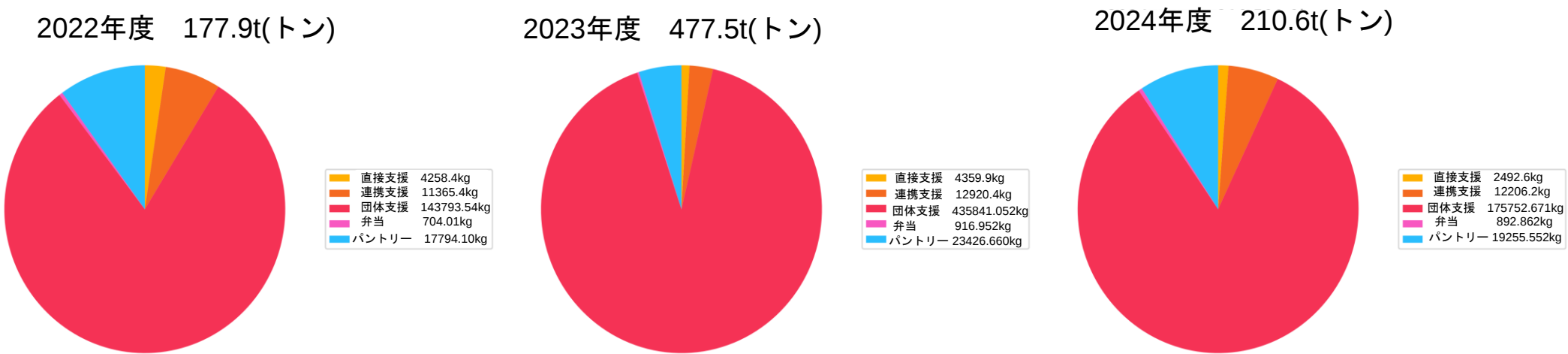


2022年度～2024年度の総支援件数を5つのカテゴリーで分類したものでそれぞれ以下の定義とする。

- ・ 直接支援・・・本人からの支援要請に応える形で支援した個人支援の事
- ・ 連携支援・・・行政保護課、地域包括支援センター、社会福祉協議会などを通しての支援の事
- ・ 団体支援・・・こども食堂、福祉団体、被災地支援団体、ホームレス支援団体等の連携している団体への支援の事
- ・ 弁当＋パントリー・・・当団体のこども支援やひとり親家庭支援として実施した支援の事

▶2022年度は団体支援が多く、2023・2024年度は連携支援の割合が増加。コロナは2023年5月には5類扱いとなったものの、その後に物価高の影響を受けた支援要請者が増えたものと推測する。

2. 総支援重量 年度別比較

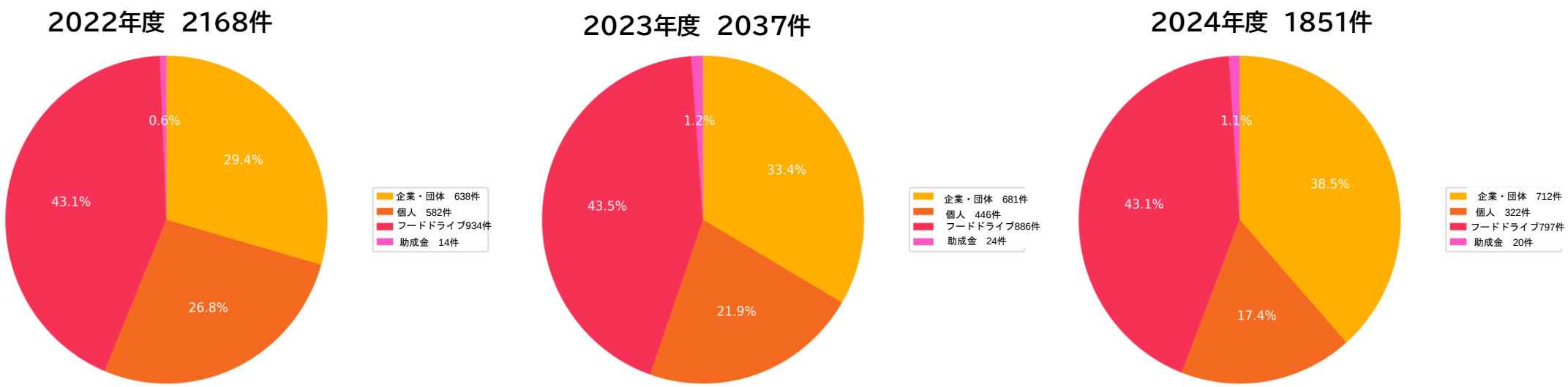


2022年度～2024年度の総支援重量を5つのカテゴリーで分類したものでそれぞれ以下の定義とする。

- ・直接支援・・・本人からの支援要請に応える形で支援した個人支援の重量。
- ・連携支援・・・行政保護課、地域包括支援センター、社会福祉協議会などを通しての支援の重量。
- ・団体支援・・・こども食堂、福祉団体、被災地支援団体、ホームレス支援団体等の連携している団体への支援の重量
- ・弁当＋パントリー・・・当団体のこども支援やひとり親家庭支援として実施した支援の重量

▶直接支援は最新の年度では半分程度に減少しているが、連携支援は3年間通して横ばいの状態である。
また、団体支援は2023年度が3年間で最も大きな取扱量となり、これは2023年度にコロナ対策班が解散したことにより、宮城県はじめ様々な行政からのコロナ支援物資を受け入れた事により、寄贈重量が300t(トン)ほど増加したことに起因する。
賞味期限が直近のものや、困窮者支援では使用できないものはフードロス対策として団体に配布したことで団体支援が増加している。
当団体のこども支援での弁当支援＋パントリー支援は着実に増加しており、食料支援の重要な柱になっている。
支援の分散と多様化が進んでおり、各カテゴリーのバランス強化が求められている。

3. 寄贈件数 年度別比較

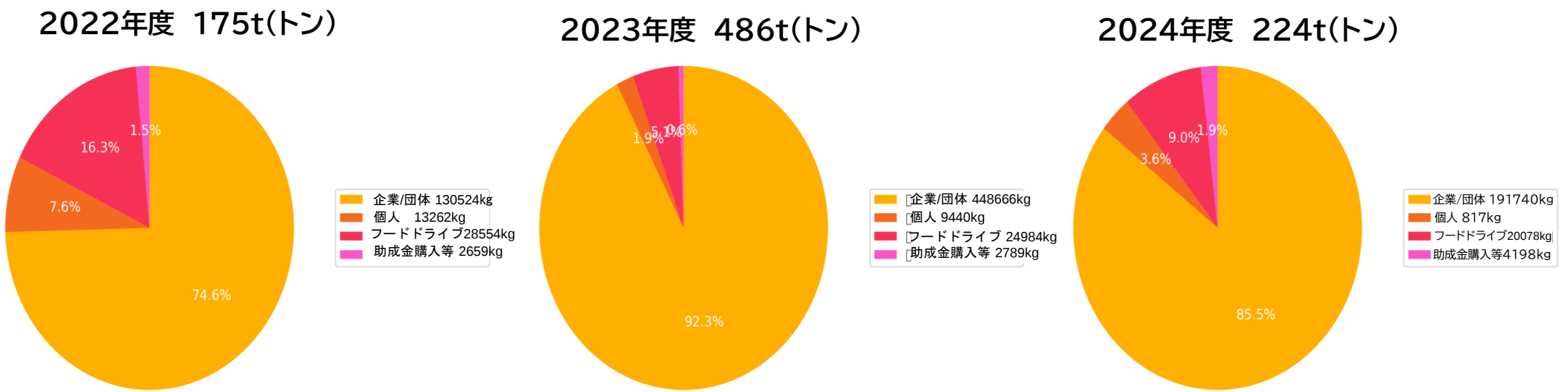


【2022年度～2024年度の寄贈件数の比較】

- ・企業・団体からの寄贈は、3年間共通で全体の40～50%を安定的に占め、中心的な寄贈元として機能している。コロナ禍でのロス削減への企業努力もあり、全体的なロスが削減されたことにより寄贈件数も減っていると考察する。また一方では、フードバンクだけではなくこども食堂等の急増もあり、寄贈物資や寄贈先が分散する傾向がある。
- ・個人の寄贈は例年300件前後で推移。2024年度は物価高による影響が顕著に寄贈数に影響しており、秋頃からその影響が見られ減少した。例年より個人からの寄贈は減少傾向にはあるが、地域住民の継続的な支援が見られる。
- ・フードドライブ:SDGsの広がりやフードロス削減の機運と共に全体の寄贈件数に占める割合が大きく、地域参加型支援の柱として定着している。
- ・助成金:ひとり親家庭支援として確保した財源から購入した物資。

▶ 多様な寄贈元が支援の安定と持続可能性を支えており、今後も幅広い連携強化が鍵。

4. 寄贈重量 年度別比較



【2022年度～2024年度の寄贈重量の比較】

- 【企業・団体】
- ・寄贈量の中核を担い、3年間で常に最大の寄贈重量を占めている。
 - ・2023年度に突出した寄贈量は、コロナ対策班が解散したことによる備蓄食料の大量寄贈によって300トンほど押し上げられている。
 - ・2024年度は通常の年度に戻った事で寄贈重量は半減したが、全体の85%以上を企業・団体からの寄贈が占めており、3年間の比較では年々増加している。
- 【個人】
- ・毎年1万kg前後で推移。数量として占める割合は小さいが、地域からの持続的な関心と参加を反映。寄贈件数は2024年度は物価高の影響で減少したと考えるが、長期的には安定したボリュームを維持している。
- 【フードドライブ】
- ・2022年度:28,554 キログラム → 2024年度:20,078キログラムと微減傾向。
 - ・社会的な景気の影響を受けやすく、設置場所や周知も重要な活動。活動内容の見直しや強化が求められるところではあるが、社会的な景気の改善が大きな鍵となる。

5. フードドライブ活動

今年度特筆すべき事柄に当団体のフードドライブ活動があります。
SDGsの広がりの中、昨今では学校の教科書でもフードバンクやフードドライブ活動のことが紹介され、
少しずつフードバンクの活動が世の中に知られるようになってきました。また活動を知り、協力してくれることもたち、
企業や団体、行政も増え、これを踏まえて今年度は消費者庁主催「令和6年度食品ロス削減推進表彰」に応募しました。
めでたく『環境事務次官賞』を受賞し、令和6年10月30日(水)に群馬の表彰式に伺って来ました。
現在、最新の調べでは当団体を取りまとめを行うフードドライブは、宮城県に留まらず、他県にも及び、
常設置箇所は123箇所となりました。
これは当団体が単独で行える活動ではなく、協力企業様や行政様の協力、更には寄贈に訪れてくださる地域の皆様、
ボランティアスタッフ、全ての皆様のお力添えがあって成り立つ活動であることを心から感謝します。

環境事務次官賞

特定非営利活動法人ふうとばんく東北AGAIN

取組詳細(特定非営利活動法人ふうとばんく東北AGAIN) [PDF:419KB]



企業やフードドライブ協力団体、行政と連携してフードドライブ体制を構築し、宮城県内外に約55箇所のフードドライブを設置するなど、活動を拡大。2023年度は寄贈件数637件、25トンの食品ロス削減を実現した。また、SNSやマスコミ・学校等への出前授業・講演を通じてフードバンク活動を発信し、全国から食品寄附を集め、2023年度には総支援重量478トンを実現した。

消費者庁
令和6年度食品ロス削減推進表彰 表彰式の様子及び受賞者紹介 より
https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/efforts/food_loss_award/2024/winners_introduction/index.html



設置箇所総計 123箇所

仙台市フードドライブ	イオン仙台店 イオン仙台幸町店 イオンスタイル仙台卸町店 イオン仙台富沢店 イオン仙台中山店	ファミリーマートフードドライブ	古川駅前大通 富谷成田四丁目 古川鶴ヶ埵 松島海岸通り 気仙沼鹿折 名取美田園二丁目 古川工業高校前 岩沼中央四丁目 岩沼たけくま 七ヶ浜境山 宮城松島あたご 松島高城 目黒新地町 亘理公園前 宮城亘理 白石駅前 白石八幡町 宮城蔵王町 白石沢端 白石蔵王駅前 丸森大内 亘理鳥の海 相馬沖ノ内 丸森館矢間 白石インター 角田幸町 気仙沼田中前三丁目 イオンモール新利府南館 利府町まち・ひと・しごと創造ステーション tsumiki
	エスパル仙台本館・東館 藤崎本館 フードマーケットフジサキ 宮城ダイハツ販売 六丁の目店 宮城ダイハツ販売仙台港北インター店 宮城ダイハツ販売仙台栗生店 宮城ダイハツ販売仙台黒松店 宮城ダイハツ販売仙台泉店 宮城ダイハツ販売長町店 宮城ダイハツ販売中田店 宮城野区役所 太白区役所 若林区役所		7箇所
	富谷市役所 富谷市内 全公民館(6箇所) 富谷宿観光交流センター とみやど イオン富谷 ヤマザワ富谷成田店		小牛田店(遠田郡美里町北浦字新高原15)
	亘理店 大河原店 角田店		大野田店(仙台市太白区大野田)
	蔵王店		八乙女店(仙台市泉区八乙女)
	美田園店 岩沼西店 丸森店 山下駅前店 白石店 柴田店 矢本店 名取増田店 相馬店 鹿島店 東原町店 北町店		デイリーポート新鮮館 富谷店 デイリーポート新鮮館 利府店
			太白286店 とみや大和店 石巻店 37箇所 KHB東日本放送

6. ひとり親家庭支援（児童扶養手当受給者対象・登録制）

2020年より、当団体ではひとり親家庭に向けた支援をコロナ禍から継続的に行ってます。

【支援内容】

- ① 月1回のフードパントリーと無償弁当配布
※フードパントリーとは、食糧品の詰め合わせを予約制で配布する活動のこと
- ② 第2・4水曜日の夕飯時の無償弁当配布
※近隣の利用者は事務所で受け渡し、遠方利用者はボランティアによる配達
- ③ 少人数制夕飯付き学習支援（中学生対象 毎週月曜日）

【年間活動回数と利用者人数 ※延べ人数】

	回数	大人(親)	子ども	合計人数
フードパントリー	12	1276	2499	3775人
水曜弁当	24	361	855	1216人
学習支援	39	0	123	123人

フードパントリー内容画像
お米5キロ+食材10キロ～15キロの支援重量



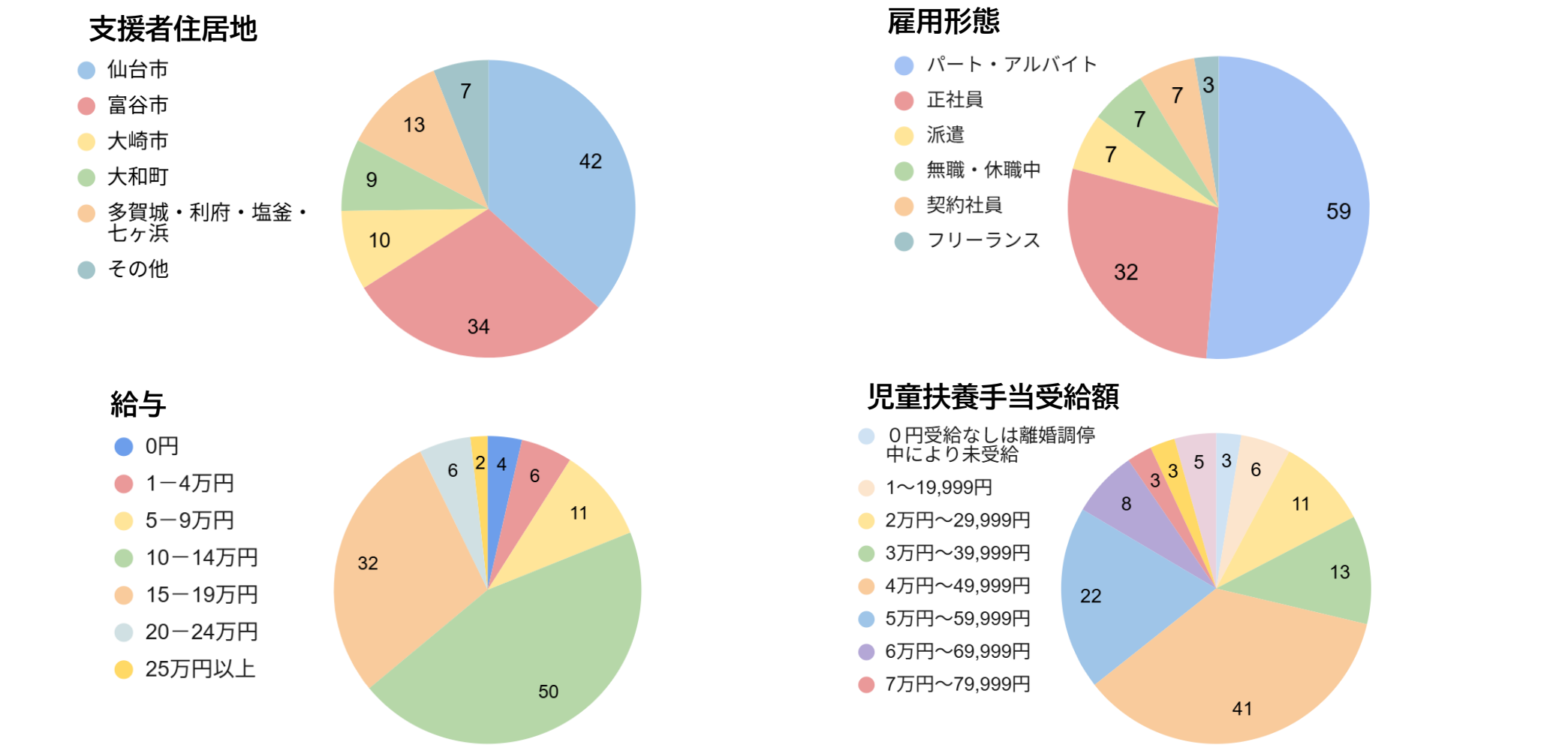
【2024年度の支援者の傾向】

2020年度コロナ禍から始めたひとり親家庭支援は、数年が経過した今年度もフードバンクの緊急支援や行政の窓口から繋がった緊急支援を要する家庭の流入や援者同士からの口コミによる紹介などがあり、毎月新規利用者が増加している状況です。現在、登録世帯数は147世帯になっており、コロナが終息してからの光熱費やガソリン代の高騰に加え、昨年からの米や野菜の価格高騰が、更に家計を圧迫している状況となっています。ひとり親家庭の支援者からは、お米が毎月もらえる事への感謝の声が一番多く聞かれ、アンケートの結果では子どもが自分でも食べられる様な手軽な食材(レトルト・缶詰)より、卵・牛乳・野菜などの栄養価の高いもので、日常的に使用する食材が好まれる傾向がありました。

【支援者の声】

- ・頑張って働いても収入が上がることはなく、毎日「どうやって生活していこう」という悩みが頭から離れず生活しているので、本当に毎回感謝しております。ありがとうございます。
- ・いつもご支援いただきありがとうございます。毎月のお弁当、フードパントリーを子どもと一緒に心待ちにしています。皆様のご支援により子どもたちもすくすく育っています。
- ・ご支援頂き有り難うございます。物価が高騰しており、スーパーに行っても、買いたい物は値段を見て我慢したり、献立を変更したりしております。お弁当、食材の提供は非常に有り難く、感謝しております。

【支援者状況】 2025年3月アンケート回答者115世帯データ参考資料



【アンケートの考察】

当団体の事務所が富谷市成田であることもあり、支援者は富谷市民を中心に、次にフードバンクの緊急支援でも支援者の多い仙台市が続きます。その他の地域では、遠方の石巻・亘理・大河原・登米の支援者等がいます。雇用形態は離婚後の中途採用や、子どもがいることもあり、パートアルバイトで働いている世帯が多く、また自身の障害や闘病中のために休職中や無職の家庭もあります。給与ではパートアルバイトで働いている世帯が多いので、約半数が10万～14万の給与で生活しています。給与が25万円以上の世帯もありますが、父子家庭で多子世帯だったり、子育てをしながらも自身の親の介護や経済的援助をしている世帯もあります。児童扶養手当は、所得制限があり、年間所得が約200万円以下の家庭が受給でき、年間所得額や世帯人数などによっても支給額が変動します。支援者では、4万円～5万円台の金額が多く、給与と手当金合わせても月15万～20万円以下の世帯が多くみられます。

【株式会社ローソン様のお節の寄贈】

2024年度12月31日、株式会社ローソン様から冷凍お節のご寄贈を頂きました。登録しているひとり親家庭に連絡し、急遽お節フードパントリーを開催しました。販売価格2万円～5万円する豪華なお節を97個寄贈いただき、すべて配布しました。

【受け取った家庭からのお礼のメッセージ】

この度は、温かいご支援誠にありがとうございました。31日まで仕事があり、お正月の準備も何もできず、そんな中、このような寄付を頂けたこと感謝の気持ちで一杯です！子供は鬱を患い、今は病気と一生懸命戦っています。また、高齢の母は腰の痛みから歩行が不安定になりつつあります。生きていくことは大変な事もたくさんありますがいつも温かい支えがあって、日々頑張ることができています。今年はおせちを食べて、また一年を頑張っていきたいと思います。子供も母も大喜びでした。

本当にありがとうございました。いいお正月になりました。

この度は素晴らしいおせちを頂き、本当にありがとうございました。

子ども達は、今までお正月におせちを食べたことがなく、今回生まれて初めてのおせちとなりました。

私も子どもの時に食べた以来のおせちでしたが、あまりの豪華さにただただ驚くばかりでした。

このような機会を与えてくださり本当に感謝申し上げます。

【お節配布の様子と配布したお節】



7. 子ども食堂

あがいんの子ども食堂は2019年1月にはじまり、コロナ禍を超え、さまざまな事業と組み合わせながら開催しています。ひとり親家庭支援では毎月約100世帯300人への無償弁当配布、また季節ごとの食べ物のおふるまいなども同時開催し、クリスマス時期のチキン、お正月は餅つきをして、つきたて餅のおふるまいも行いました。

そして、第2・4水曜日の夕飯時には、29世帯・101人に無償の弁当配布を行っています。

今年度から開始した、毎週月曜日・少人数制の中学生向け学習支援では、手作りの夕飯を参加者3名に提供しています。

その他、地域のお祭りや、啓蒙活動も含め行っているイベントでは、商業施設とコラボした子ども食堂や、縁日風のおふるまいを開催し、夏にはかき氷、秋には豚汁やけんちん汁などを100名～400名の子どもたちに無償提供しています。また、地域の子どもの見守りを兼ね行っているプレーパークでも、軽食を提供し、火が使える公共施設や町内会館では、七輪でソーセージを焼いたり、マシュマロを焼いたりして、季節感のある行事をこどもたちが味わえるように工夫しています。さらに地域の学童クラブとコラボした出張型子ども食堂なども開始し、寄贈品をうまく活用し、居場所づくりと食の支援を同時開催しています。

【ひとり親家庭の支援弁当やおふるまいの様子】



【プレーパーク時の軽食や出張型子ども食堂の様子】



コミュニティ事業

1. プレーパーク

当団体のプレーパーク事業「とみやっこプレーパーク」は、2023年度より「公益財団法人 子ども未来支援財団」の3年間の助成を受け、活動をスタートしました。

始めるきっかけとなったのは、コロナ禍の3年間、人との関わりに制限を受けた子どもたちのコミュニケーション能力や運動能力が一般的に低下したと言われたこと、また富谷には自由来館できる児童館が無い事で、親子ともに人との関わりを作るのが難しい環境だと感じていたことがあります。また市内には不登校のこどもたちも多い事から、こどもたちの「第三の居場所」は求められており、その役割を担う意味も込めてスタートしました。

フードバンクとして食を支援するだけでなく、団体のミッションである「誰も取り残されることのない社会」を実現するため、分け隔てなく、こどもたちに体験活動や多年代の人たちとの関りを提供する場所として、「失敗していい場所」「何をしてもいい・何もしなくてもいい場所」として、数年間のうちに利用者はどんどん増加し、地域にも定着しています。

【とみやっこプレーパーク開催回数と年間使用者(親・子、高齢者などその他参加者含む)】

	開催回数(回)	年間使用者(人)
2023年度	42	1686
2024年度	41	2866
2年間合計	83	4552



【開催場所】成田西公園、成田公民館、とみやど、新町公園、町下会館、富ヶ丘北部会館、総合運動公園、西成田コミュニティーセンター、N-1ドーム

【プレーパーク事業の協力団体】富谷市、成田連合町内会、一般社団法人アートインクルージョン、一般社団法人アルディエンテスポーツクラブ、認定NPO法人 冒険あそび場 せんだい・みやぎネットワーク、富谷社会福祉協議会、富谷高校(JRC部等)、成田小学校放課後児童クラブ

【助成団体】 公益財団法人 子ども未来支援財団、宮城県共同募金会、富谷市

【利用者の声】

- ・「今日は泥んこになって遊べて、すごく楽しかった！また来たい！」
- ・「自分で作った木のおもちゃ、大切に使う！」
- ・「雨の日でも、みんなで水たまりで遊ぶのは初めてで、面白かった！」
- ・「秘密基地、みんなで協力して作るのが楽しかった。もっと大きくしたいな。」
- ・「どんぐりがいっぱい落ちてて、お土産にしたよ。」
- ・「ハロウィンの仮装、みんなすごかった！お菓子もたくさんもらえて楽しかった！」
- ・「焚き火であったかい飲み物を飲むのが、冬の楽しみになった。」
- ・「雪合戦、大人も子どもも一緒になって遊んで、すごく盛り上がった！」
- ・(保護者より)「普段はなかなかできないダイナミックな遊びをさせてあげられて、本当にありがたいです。」
- ・(保護者より)「子どもたちが、自然の中で生き生きと遊ぶ姿を見るのが、何より嬉しいです。」
- ・(保護者より)「子どものあそび場を続けて欲しい、こどもを連れていけないところがないのでここがとても助かります。」



【プレーパーク総括】

プレーパークの始まりは1943年デンマークのコペンハーゲン、日本では1970年代にイギリスのLady Allen of Hurtwoodの著書「都市の遊び場」が紹介され、1979年に世田谷区で日本初の常設プレーパーク「羽根木プレーパーク」が誕生しました。現代のこどもは、オンライン上で昔の子どもと比べ物にならないほどの情報量を得ており、交友関係も多様化しているにも関わらず、いじめや引きこもり、不登校や自死などで悩みを抱える子が多く存在します。受け入れる形もフリースクールやこども食堂など、学校や家庭以外の多様な居場所が求められています。プレーパークは泥臭い昔の遊び、何もないところからの創造など、原点回帰なのではないかと思います。こどもは本来、創造やあそびの天才。日本全国に広まりつつあるプレーパーク。こどもの本来の力を引き出す遊びが、今見直される時が来ているように思います。

2. 啓もう活動・イベント

当団体が初めて地域の人に知ってもらうために啓もうイベントを始めたのは2018年でした。
地域の人たちにフードバンクの存在を知ってもらうために始めた「みんなのマルシェ」も、現在は開催場所をランチ仙台に変え、
毎年テーマを持って開催されています。またイベントに留まらず、講演活動や出前授業で学校や団体に呼ばれる機会も増え、知ってもらう機会を増やしています。



【イベント・講演等】

	日付	イベント/会議・講演名		日付	イベント/会議・講演名
1	4月13日	JCI設立50周年祝賀会、新社屋落成式	27	10月27日	イベント「ハロウィン&体操教室」
2	5月4日	ぴえろっく一座公演&あがいんこどもまつり	28	10月30日	消費者庁 第8回食品ロス削減推進表彰授与式
3	5月11日	IZUMI未来構想フェスティバル	29	11月3日	令和6年度岩沼市功労者表彰式
4	5月11日	Hello! Party コラボ型こども食堂	30	11月7、8日	職場体験学習(成田中学校)
5	5月17日	東北地方食品ロス削減等情報交換会	31	11月9日	亘理町社協講演
6	5月24日	令和6年度第1回子ども食堂関係機関ネットワーク会議	32	11月9日	みやぎフードドライブ2024
7	7月2日	日吉台中学校フードロス等講演活動	33	11月11日	富谷市長表敬訪問
8	7月3日	塩釜高校家庭科の食物フードデザイン講演	34	11月11日	曹洞宗東北管区教化センター講演 モントレ仙台
9	7月12日	宮城県こどもの居場所づくりトップセミナー	35	11月12日	みやぎゼロカーボンチャレンジ2050県民会議令和6年度総会
10	7月19日	仙台南高校「SDGs Day」講演	36	11月17日	富谷市複合型図書館パートナーズミーティング講演
11	7月24日	あがいんこども夏まつり	37	11月21日	子どもサポート基金 組織力強化セミナー
12	8月7日	宮城県高等学校家庭科研究会仙塩南地区会	38	12月3日	東北福祉大学 ボランティア論講義
13	8月4、5日	とみやっこプレーパーク特別お泊り会	39	12月3日	宮城県労働者福祉協議会 講演
14	8月8日	夏休み福祉体験教室	40	12月7日	JERA労組 講演
15	9月5日	富谷高等学校第2学年「総合的な探求の時間」における「研修ツアー」の生徒受入れ	41	12月8日	ほっぶの森 講演
16	9月10日	宮城県社会福祉教育委員連絡協議会	42	12月8日	シニアタウン クリスマスコンサート
17	9月17日	仙台商工会議所女性会9月定例常任委員会移動視察会	43	12月11日	令和6年度職業人の話を聞く会 in富谷第二中学校
18	9月18日	菓子問屋関口大見本市フードドライブ	44	12月12日	令和6年度富谷市市民活動交流会
19	9月20日	泉青年会議所 50周年記念式典	45	12月19日	こども食堂への支援品贈呈式
20	9月28日	全国子ども食堂支援センターむすびえリアルお宝会議	46	12月21日	「こどもまんなかアクション」リレーシンポジウム in 仙台つながりあおう！みんなで語り合おう！
21	10月3日	とみやわくわくミーティング	47	12月26日	仙塩地区研修会 講演（宮城県青少年赤十字 仙塩地区指導者協議会）
22	10月11日	泉館山高等学校1学年「総合的な探求の時間」地域団体交流会2024	48	1月14日	第3回宮城野区地域包括支援センター連絡会議
23	10月12日	富谷市 街道祭り	49	1月18日	加美町子ども食堂立ち上げフォーラム
24	10月17日	仙台・泉ロータリークラブ講演	50	2月8日	むすびえ 全国交流会
25	10月20日	みんなのマルシェ in BRANCH仙台	51	3月	青森県社会福祉協議会講演
26	10月22日	令和6年度第2回子ども食堂関係機関ネットワーク会議			

その他 被災地支援・寄贈など

○宮城県共同募金会様 × 楽天野球団様との協働助成事業「クルマをおくろうPROJECT」

楽天野球団さんと宮城県共同募金会様の共同事業で Suzuki エブリイの素敵なラッピング車両を頂きました。当日はアンバサダーの銀次さんも贈呈式に駆けつけてくれました。



○グローテック(株)様によるランドセルプレゼント

毎年ひとり親家庭向けに希望者全員にランドセルを寄贈してくださっています。また当団体のハロウィンや体操教室のイベントなどに全面協力頂いています。



○米寄贈

末日聖徒イエスキリスト教会様でひとり親家庭支援用のお米を1年分ご寄贈頂きました。



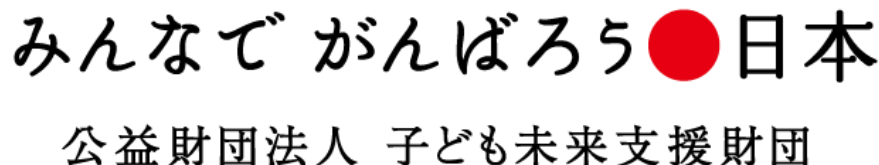
○能登支援

むすびえ令和6年能登半島地震こども食堂応援基金を受けて支援活動を行いました。



その他

1. 協賛・協力企業ご紹介



Candybase.co
<http://candy-base.com/>

Candybase株式会社 022-779-7185

リコーインダストリー株式会社



日本郵便株式会社 東北支社



認定NPO法人 全国子ども食堂支援センター



ティ・エス工商株式会社



第一生命

仙台ターミナルビル(株)

あなたに、ベスト・ウェイ。

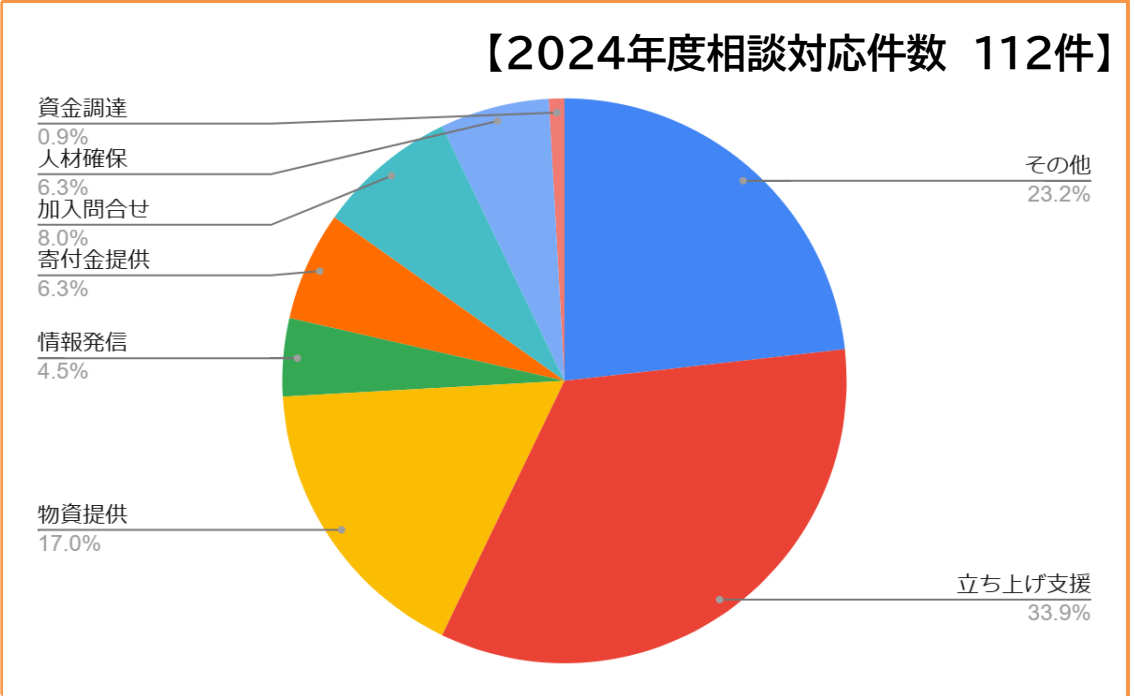
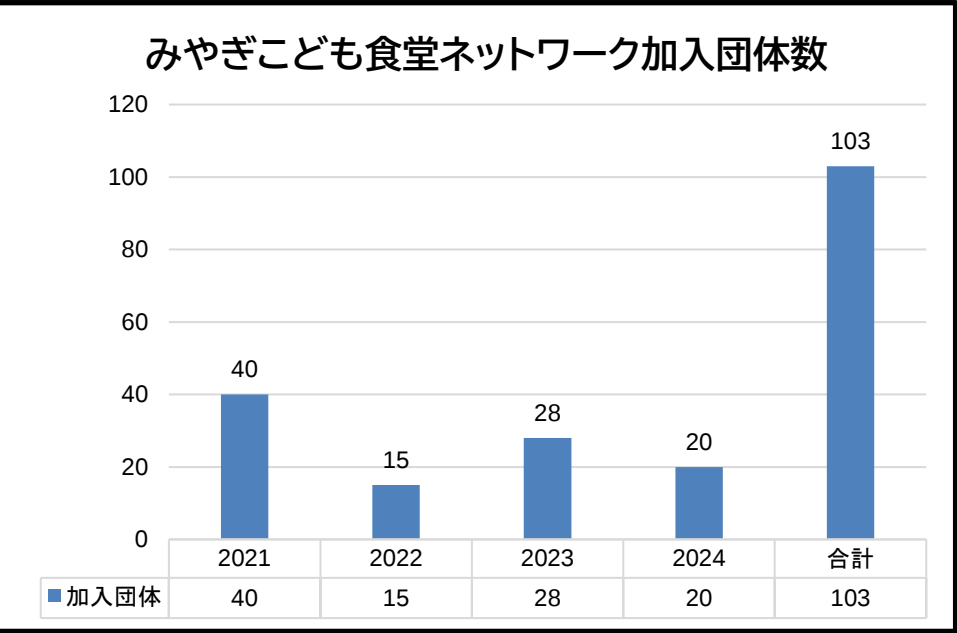


2.みやぎこども食堂ネットワーク

「みやぎこども食堂ネットワーク」は、県内のこども食堂の輪を広げ、情報共有や物資提供などを行う事を目的に2021年に立ち上がり
ました。当団体では、2023年より事務局業務、及び代表団体を務めています。



2024年度の調べでは全国のこども食堂は10,867箇所となり、初めて1万箇所を超えました。これは公立中学校の数を上回る数字です。
宮城県でも当初はほとんど仙台市に密集していたこども食堂が、
現在は8圏域にまで広がり、加入団体は103団体となりました。
こども食堂はこどもたちが行ける範囲にあることが重要で今後も広げる活動を
続けます。
また広める活動と共に、運営に関する安全面の確保にも努め、
ネットワーク加入に際して保健所の許可や保険への加入なども促しています。



【2024年度当団体からのネットワーク加盟団体への寄贈実績】 173トン

【令和6年度みやぎこども食堂ネットワーク活動報告会＆こどもまんなかシンポジウム】
年度の最終報告会と、こどもまんなかの居場所作りと題して3月26日に開催しました。
宮城県保健福祉部子ども・家庭支援課家庭生活支援班の皆様、農林水産省 東北農政局様、こども家庭庁様など、
こどもの居場所に関わる様々な立場の方々にお話を頂きました。

3.マスコミ掲載等

2024年度、マスコミにて当団体に取り上げられた実績になります。物価高騰のあおりを受け、食料が集まらなくなった時期もありましたが地道なSNSでの発信やテレビ・ラジオで取り上げて貰う事により、寄贈に繋がってきました。

掲載ホームページ	掲載内容	掲載ホームページ	掲載内容
1 (有)マルフジ運輸 ホームページ	宮城子ども食堂に応援基金ができる自動販売機に変更しました	23 khb東日本放送ニュース	NTT東日本グループ 困窮世帯支援のため食料を寄付
2 ホームページ	ベガルタ仙台フードドライブプロジェクト2024	24 Yahoo!ニュース	NTT東日本の従業員が集めたコメやお菓子など923点をNPO法人に贈る
3 khb東日本放送ニュース	食糧支援を行うフードバンク 物価高で寄付が減少し食糧不足に	25 FNNプライムオンライン(仙台放送)	NTT東日本が食料品をフードバンクに寄付 冬休みや年末年始の支援に
4 Yahoo!ニュース	食糧支援を行うフードバンク 物価高で寄付が減少し食糧不足に	26 Yahoo!ニュース	NTT東日本が食料品をフードバンクに寄付 冬休みや年末年始の支援に
5 山形新聞ニュース	フードロス解消へ連携(丸松青果・日本郵政・ふうどばんく)	27 ミヤテレ ミイの姉みつけ(フジバン)	余った食品を回収し必要なひとに
6 株式会社高速 ホームページ	宮城県内の「子ども食堂」への寄附	28 河北新報	子どもの居場所地域で支えよう
7	仙台で交流イベント	29 JA宮城中央会	宮城県協同組合こんわ会 こども食堂に食料品を支援しました
8 読売新聞	団体つなげ 的確な支援	30 河北新報	「ささ王」出品米 大崎困窮世帯支援に240キロ
9 株式会社高速 ホームページ	子ども食堂ネットワークへの寄付と目録贈呈式	31 地域情報誌コミュ	あなたの町の子ども食堂
10 河北新報	物資不足フードバンク窮地 支援需要増、関係者ら危機感	32 広報くりはら	最近の子ども食堂の役割について
11 仙台経済界9-10月号	住宅団地の明日 一まちづくりに希望はあるかー	33 ままばれ1月号	募金をみやぎこども食堂ネットワークに全額寄付
12 Yahoo!ニュース	フードバンクに物価高や米不足の影響が	34 河北新報	子ども食堂設立後押し 加美でフォーラム
13 khb東日本放送ニュース	フードバンクに物価高や米不足の影響が	35 河北新報	子ども食堂を地域で支える
14 仙台つーしん	ランチ仙台WEST『ベガルタフェスタ2024』でフードドライブ	36 東北放送ラジオ	GoGoはみみこいラジオな気分 プレーパークに関して
15 河北新報	富谷高研修 地域課題学び深める フードバンクの仕分け体験	37 Date fm エフエム仙台	みやぎこども食堂ネットワーク よりみちの会寺山様出演
16 河北新報	高校生ボランティア	38 青森県社協ホームページ	フードバンクの物品管理を勉強
17 khb東日本放送	10/8(火)にふうどばんく東北AGAINへ食料77キロを寄贈	39 Yahoo!ニュース	赤い羽根協同募金と楽天野球団がフードバンク事業者に車両を寄贈
18 Yahoo!ニュース	宮城県庁でフードドライブ こども食堂などに寄贈	40 楽天イーグルスホームページ	宮城県内のフードバンク事業団体へ車両の贈呈を行いました
19 ままばれ11月号	とみやっこプレーパーク体験レポート	41 ミヤギテレビ OH! パンデス	フードロスを有効活用！フードバンクの活動とは
20 のびすく東中央 まったりやま	ふうどばんく東北AGAINさんから支援品のご提供をいただきました。	42 河北新報	名取の民生委員 困窮者支援に奔走
21 富谷市広報	食品ロス削減推進表彰 環境事務次官賞受賞	43 消費者庁ホームページ	環境事務次官賞受賞
22 NTT東日本グループ NewsRelease	約900点210kgの食品を「ふうどばんく東北AGAIN」へ寄贈	44 環境省ホームページ	環境事務次官賞受賞

4. 事業等

【こども食堂・学校架け橋プロジェクト】

全国こども食堂支援センター・むすびえからの委託として、全国で6地域が選定され、当団体も学校とこども食堂をつなぐさまざまな活動に取り組む、「こども食堂・学校 架け橋プロジェクト」を行いました。
こども食堂と学校・教育委員会との連携をさらに深めるための可能性を探る事業で、モデル事業として取り組みました。



最寄の学童との連携



城南高校とのコラボこども食堂



いつもお手伝いに来る中学生たち

【孤独・孤立対策に有効なアートWSを地域で自走できるツールの開発・実証・普及に関する事業】

通常のこども食堂の開催と同時にアートの活動を行い、そのワークショップを通して参加者などとの会話や気づきを探る事業。当団体の活動では、リース作りや体全体を使った絵の製作など、様々な活動を行いました。



アートワークショップの様子と当日のこども食堂を手伝いに来た学生たちの様子

【番外編 あがいんに関わる皆さんからの声】

- 最初はとても緊張していましたが、事務所に入ると皆さんとてもやさしく、こんなアットホームな職場があるんだと驚きました。(学生の声)
- あがいんさんで体験させていただいた、子ども食堂への支援物資の寄贈では、食べ物の大切さや、どれだけの量の食糧が余っているのかを教えてくださいました。皆さまから頂いた教えを大切に、今後の中学校生活にいかしていきたいです。(学生の声)
- 子ども達は、あがいんが大好きで、どんなことでもお手伝いしたいと思っています。毎回、役割分担なども細かくやらせてください。(学童の先生より)
- この経験のおかげで生徒は一回り大きくなりました。このような機会があれば、ぜひお声がけください。(イベントにボランティアとして参加してくださった高校の先生より)
- フードバンク事業は、社会にとって欠かせない存在であると思っていますので、これからも様々な形態に関わって協力していきたいと思っています。よろしくおねがいします。(学生の声)
- 1回1回の活動で、学校などでは学べないことを学ぶことができます。私にも微力ながら何かお手伝いできることがあると思うので、これからも積極的に参加していきたいです。(学生の声)
- あがいんにいる人達は皆人柄が良く、居心地がいい(学生の声)

【ご寄付・ご協力のお願い】

当団体の活動は、実際に現場を支える沢山のスタッフ、そして活動費を応援して下さる企業や個人の方々、物品寄贈をくださる皆様、助成して下さる財団や市町村により支えられております。

皆様の温かい応援あってこそコロナの大変な時期や物価高の今も乗り越える事が出来ています。

あがいん一同心より感謝申し上げます。

物品の寄贈だけではなく、配送のお手伝い、こどものあそび場スタッフ、倉庫の提供など、色々な形でご協賛の皆様を募っています。また法人会員や個人会員、寄付は年間を通して受付ており、定期的なサポートとしてはマンスリー会員制度もあります。

どうぞ今後ともご支援のほどよろしくお願いいたします。

【お振込】

・銀行:ゆうちょ銀行 818番店 普通口座 22670211

・郵便局:記号・番号 18150-22670211



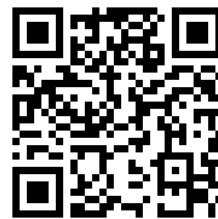
公式HP



Instagram



Facebook



寄付サイト

【連絡先】

NPO法人ふうとばんく東北AGAIN

〒981-3341 宮城県富谷市成田1-5-4

TEL:022-779-7150 FAX:022-774-1410

MAIL:info@foodbank.or.jp

URL:<https://www.foodbank.or.jp/>

Instagram:<https://www.instagram.com/minnano.mar2018/>

Facebook:<https://www.facebook.com/foodbank.tohoku.again/>